

令和 4 年度

北但行政事務組合決算審査意見書

一 般 会 計 決 算

基 金 運 用 状 況

北但行政事務組合監査委員



令和5年10月3日

北但行政事務組合

管理者 関 貫 久仁郎 様

北但行政事務組合

監査委員 羽 尻 知 充

監査委員 太 田 智 博

令和4年度北但行政事務組合一般会計決算  
及び基金運用状況の審査意見について

地方自治法第292条において準用する同法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された、令和4年度北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算及び決算附属書類並びに令和4年度基金運用状況について審査したので、次のとおりその意見を提出します。



## 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	総括	1
2	決算の状況	3
3	財政の状況	4
4	財産の状況	7
5	基金の運用状況	7
6	審査の所見	8
[参 考 資 料]		
	歳入歳出決算前年度比較表	9

※ 各表中、一部の表は資料の都合により千円単位で表示しており、合計と内訳の計、差引及び前年度比較が一致しない場合がある。

# 令和4年度北但行政事務組合一般会計決算 及び基金運用状況の審査意見書

## 第1 審査の対象

- 1 令和4年度 北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- 2 決算附属書類  
令和4年度北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書
- 3 基金の運用状況に関する調書

## 第2 審査の期間

令和5年6月13日から9月21日まで

## 第3 審査の方法

- 1 令和4年度の一般会計歳入歳出決算書及び決算附属書類について、会計管理者及び組合当局から必要な書類の提出を求め、事項別に説明を聴取するとともに、定期監査及び行政監査並びに例月現金出納検査の結果を参考にしつつ、審査の過程に応じ適宜関係諸帳簿と照合し、計数審査を行ったほか予算執行状況等を審査した。
- 2 令和4年度の基金について、関係諸帳簿と照合し、計数及び運用状況を審査した。

## 第4 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算及び決算附属書類は、いずれも関係法令及び議会の議決に則ったものであり、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認められた。また、予算の執行状況についても、おおむね適正であると認められた。

なお、要望事項等については「6 審査の所見」に述べているので、今後対応等を求める。また、軽易な注意事項等については、その都度口頭で改善指導したので記述を省略した。

以下、審査の結果は次のとおりである。

### 1 総括

北但ごみ処理施設の維持管理及び広域ごみ・汚泥の処理に関する事務を共同して行うことを主要な事業として取り組んでいる。

設計、建設、維持管理・運営を一括して民間事業者が担う公設民営（DBO）方式により事業を実施する北但ごみ処理施設整備・運営事業については、総合評価一般入札方式により、タクマグループが選定され、契約を締結した。平成28年8月から施設運営事業者としてタクマグループの設立したSPC（特別目的会社）「ほくたんハイトラスト株式会社」が運営・管理業務を行っている。

- (1) 市町別のごみの受入状況は、豊岡市27,894.35 t（前年度対比100.25%）、香美町6,079.09 t（前年度対比97.53%）、新温泉町4,977.83 t（前年度対比102.33%）、全体で38,951.27 t（前年度対比100.08%）となっている。
- (2) 排ガスの自主保証値を遵守しながら安全に施設稼働を行い、計画外休止については、水銀濃度が自主保証値を超える恐れがあったため、計6回の焼却停止を行ったが、安

全を担保するための一時的な停止であり、マニュアルに基づき適正に対応し、関係者に報告も行っている。

- (3) 事業推進に当たり、地元等との協議及び報告を行っている。施設運営委員会を1回開催し、ごみの受入状況、環境保全状況、管理施設における監視体制、地域振興計画の進捗状況などについて報告を行っている。また、毎月月例報告として、ごみの受入状況、環境監視の状況などの報告を行っている。引き続き、事業運営への理解を得るように努めている。
- (4) 施設には、資源循環と環境保全について考える体験の場を備えることから、施設見学者を積極的に受け入れている。各種市民団体等で24団体854人、一般見学者で32人となっている。さらに、豊かな自然環境が存在する立地を生かし、自然との共存・共生を図るために、ふれあい体験イベントを7回開催し、128人の参加者があった。
- (5) 施設を環境保全の先駆的施設と位置付けていることから、里山保全活動に取り組んでいる。常緑樹と落葉樹が混在する本来の山林の姿を維持し、希少植物を含む多種多様な植生を有する豊かな山林を復活、維持するために、鹿の侵入を防ぐ防護柵の管理、苗木の移植、竹林間伐などを行っている。
- (6) 南側斜面に発生した孕み対策として、吹付砕工等の法面保護工事を実施している。また、散策路の安全性を高め、多くの利用者が自然を満喫できるよう、手摺設置等の散策路改修工事を実施している。さらに、西側斜面に設置している排水路に堆積した土砂の撤去工事を実施している。
- (7) 主な自主財源は、ごみ処理手数料156,326,600円、資源化物売払収入66,688,353円、電力売払収入217,908,850円である。

資源化物売払の品目は、破碎鉄、破碎アルミ、スチールカン及びアルミカン圧縮成型品、紙製容器包装等であり、上半期、第3四半期及び第4四半期で契約を行い、実績に基づき歳入している。予算に対する収入率は97.6%となっている。

電力売払は、再生可能エネルギー電気の売電実績であり、株式会社タクマエナジーと契約を行い、実績に基づき歳入している。前年度と比較すると売電量が273,689kWh増加したことや、売電単価が上がったこともあり、売電収入が15,740,976円増額となっている。

## 2 決算の状況

### (1) 決算の概要

(単位:円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度繰越財源	実質収支額
令和4年度	850,833,667	802,608,716	48,224,951	0	48,224,951
令和3年度	741,341,447	712,858,579	28,482,868	0	28,482,868
比較	109,492,220	89,750,137	19,742,083	0	19,742,083

歳入総額850,833,667円、歳出総額802,608,716円、歳入歳出差引額は48,224,951円の黒字決算となっている。

前年度と比較すると、歳入総額は109,492,220円の増額、歳出総額は89,750,137円の増額、歳入歳出差引額（差引形式収支額）は19,742,083円の増額となっている。

### (2) 歳入

(単位:千円、%)

款別	年度	令和4年度			令和3年度 決算額	対前年比
		予算現額	決算額	収入率		
分担金及び負担金		371,286	371,286	100.0	319,145	116.3
使用料及び手数料		147,058	156,434	106.4	149,022	105.0
財産収入		275,869	285,177	103.4	254,118	112.2
繰越金		28,482	28,483	100.0	16,180	176.0
諸収入		2,703	9,453	349.7	2,876	328.7
計		825,398	850,833	103.1	741,341	114.8

当年度の歳入は、予算現額825,398千円、決算額850,833千円で、予算現額に対する収入率は103.1%となっている。決算額を前年度と比べると14.8ポイント増加している。

なお、不納欠損額及び収入未済額は0円である。

### (3) 歳出

(単位:千円、%)

目別	年度	令和4年度			令和3年度 決算額	対前年比
		予算現額	決算額	支出率		
議会費		1,005	858	85.4	866	99.1
総務費		52,072	51,344	98.6	52,433	97.9
衛生費		771,321	750,407	97.3	659,560	113.8
予備費		1,000	0	0.0	0	—
計		825,398	802,609	97.2	712,859	112.6

当年度の歳出は、予算現額825,398千円、決算額802,609千円で、予算現額に対する支出率は97.2%となっている。決算額を前年度と比較すると12.6ポイント増加している。予算現額から決算額を差引いた不用額は22,789千円である。

なお、予備費は当初予算額1,000千円であり、予備費充当の必要がなかったため、同額が不用額となっている。

(4) 決算額等の推移

直近5か年間の決算額等の推移は、次のとおりである。(単位：千円、%)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳入	決算額	722,380	750,790	716,416	741,341	850,833
	前年対比	102.8	103.9	95.4	103.5	114.8
歳出	決算額	685,747	716,248	700,236	712,859	802,609
	前年対比	101.4	104.4	97.8	101.8	112.6
差引収支額		36,633	34,542	16,180	28,482	48,224
(うち繰越明許費繰越額)		0	0	0	0	0
実質収支額		36,633	34,542	16,180	28,482	48,224
単年度収支額		10,343	△2,091	△18,362	12,302	19,742
一般廃棄物 処理施設基金	積立額	17,502	19,004	19,202	19,101	21,069
	繰入額	0	0	0	0	0
実質単年度収支額		27,845	16,913	840	31,403	40,811

※ 一般廃棄物処理施設基金は、実質黒字要素として位置付けている。

### 3 財政の状況

歳入総額850,833千円の内訳は、分担金及び負担金〔構成市町負担金〕371,286千円（構成比43.7%）、使用料及び手数料156,434千円（構成比18.4%）、財産収入285,177千円（構成比33.5%）、繰越金28,483千円（構成比3.3%）、諸収入9,453千円（構成比1.1%）である。

歳入では、ごみ受入量は前年度と比較してほぼ横ばいだが、直接搬入量が増えているため、ごみ処理手数料は増収となっている。電力売払収入は、8月の売払単価の改定により単価が上がったため、増収となっている。資源化物売払収入は、ほとんどの品目で搬出量自体は減少しているが、売払い単価が上がったため、増収となっている。また、再商品化事業拠出金は、委託単価が上がったため、増収となっている。

歳出総額802,609千円の内訳は、議会費858千円（構成比0.1%）、総務費51,344千円（構成比6.4%）、衛生費750,407千円（構成比93.5%）である。衛生費〔(項)清掃費(目)施設運営管理費〕の主な支出は、施設運営委託業務484,087千円、ばいじん処理委託業務31,975千円、最終処分場負担金86,980千円である。

歳出では、南側斜面安定対策工事を実施したため工事費が増加しているが、全体としては、おおむね見込みどおりの執行となっている。

なお、施設運営委託業務は、令和18年度までの債務負担行為を設定し、ほくたんハイトラスト株式会社に委託している。(管理運営業務の全体契約額8,842,050千円)

(1) 性質別歳出の状況

性質別歳出の状況は、次のとおりである。 (単位：円)

区 分		令和4年度	令和3年度	対前年度 増 減
		決算額	決算額	
経常的 経 費	人件費	16,264,668	18,243,976	△1,979,308
	物件費	540,201,778	536,778,763	3,423,015
	維持補修費	1,106,406	663,800	442,606
	補助費等	135,868,032	133,965,256	1,902,776
	公債費	0	0	0
	小 計	693,440,884	689,651,795	3,789,089
臨時的 経 費	物件費	2,307,800	4,105,200	△1,797,400
	普通建設事業費	85,791,200	0	85,791,200
	積立金	21,068,832	19,101,584	1,967,248
	小 計	109,167,832	23,206,784	85,961,048
合 計		802,608,716	712,858,579	89,750,137

(2) 構成市町負担金の内訳

構成市町負担金の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

区 分	処理（運営）費分	処理施設整備費分	地域振興費分	負担額合計
豊岡市	189,270,113	61,505,743	0	250,775,856
香美町	49,146,160	16,409,132	0	65,555,292
新温泉町	40,561,727	14,393,125	0	54,954,852
合 計	278,978,000	92,308,000	0	371,286,000

※1 処理（運営）費分の負担割合は、均等割（10%）、ごみ量割（90%）である。

※2 処理施設整備分の負担割合は、均等割（15%）、人口割（85%）である。

※3 地域振興費分の負担割合は、均等割（15%）、人口割（85%）である。

(3) ごみ処理手数料の内訳

ごみ処理手数料の構成市町の内訳は、次のとおりである。

ア ごみ受入量 (単位：台、t)

区 分	燃やす ごみ	燃やさ ないごみ	粗 大 ごみ	ビン・ カン	ペット ボトル	その他	計
豊岡市	38,881	5,731	6,187	925	348	1,831	53,903
	22,956.95	1,050.73	916.67	509.42	89.23	2,371.35	27,894.35
香美町	9,834	1,109	1,393	343	155	1,338	14,172
	4,079.12	170.26	227.24	137.40	28.28	1,436.79	6,079.09
新温泉町	3,830	374	752	1	1	375	5,333
	3,763.33	138.51	175.24	0.00	0.01	900.74	4,977.83
合 計	52,545	7,214	8,332	1,269	504	3,544	73,408
	30,799.40	1,359.50	1,319.15	646.82	117.52	4,708.88	38,951.27

※1 市町別の上段は台数、下段は重量である。

※2 新温泉町のビン・カン及びペットボトルは、一般の方が施設に直接持ち込みされたものである。

※3 重量は、搬入時の計量データによるものである。

イ ごみ処理手数料

市 町	区 分	台数 (台)	重量 (t)	料金(円)	料金割合 (%)
豊岡市	許可	6,984	7,724.91	77,249,100	49.42
	一般	27,944	2,208.09	22,080,900	14.12
	一般事業系	7,475	2,119.44	21,194,400	13.56
	県・官公庁	97	14.50	145,000	0.09
	計	42,500	12,066.94	120,669,400	77.19
香美町	許可	392	312.73	3,127,300	2.00
	一般	6,991	592.22	5,922,200	3.79
	一般事業系	2,233	872.29	8,722,900	5.58
	県・官公庁	26	3.97	39,700	0.03
	計	9,642	1,781.21	17,812,100	11.39
新温泉町	許可	843	947.62	9,476,200	6.06
	一般	2,069	201.68	2,016,800	1.29
	一般事業系	728	631.88	6,318,800	4.05
	県・官公庁	15	3.33	33,300	0.02
	計	3,655	1,784.51	17,845,100	11.42
総 計		55,797	15,632.66	156,326,600	100.00

※ 関係市町（直営、汚泥、災害ごみ等）及び収集運搬委託業者については、ごみ処理手数料は徴収しない。

※ 許可とは、一般廃棄物収集運搬許可業者、一般とは、一般家庭や登録事業者（手数料後納業者）ではない事業者、一般事業系とは、登録事業者（手数料後納業者）のこと

(4) 実質収支の状況

実質収支に関する調書を、歳入歳出決算書及び同事項別明細書と照合して審査した。当年度における実質収支は、48,224千円の黒字となっている。

(単位：千円)

区 分	金 額
歳 入 総 額	850,833
歳 出 総 額	802,609
歳入歳出差引額	48,224
翌年度へ繰越すべき財源	0
実 質 収 支	48,224

#### 4 財産の状況

財産に関する調書及び財産台帳により審査した。その概要は、次のとおりである。

##### (1) 土地及び建物

(単位：㎡)

区 分			土地（地積）	建物（延べ面積）	参 考
			現 在 高	現 在 高	
行政 財産	その他 の行政 機 関	廃棄物処理施設	22,350.00	15,807.25	クリーンパーク 北但
	公共用 財 産	山 林	282,485.58	56.70	森林里山ゾーン、 進 入 路
		その他の施設	881.81	40.57	管理施設
合 計			305,717.39	15,904.52	

※ 決算年度中、地籍調査により山林地積が20,753.37㎡増加しているが、実質的な増減は無い。

##### (2) 物品〔車両及び100万円以上の物品〕

(単位：台)

区 分	前年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高
その他特殊車両 (油圧式バックホウ)	1	0	1
その他機械 (竹粉製造機)	1	0	1
合 計	2	0	2

#### 5 基金の運用状況

##### (1) 審査の結果

審査の対象とした一般廃棄物処理施設基金は、北但行政事務組合が設置した一般廃棄物処理施設の撤去に必要な財源を確保するため設置された基金である。その計数は正確であり、設置目的に則して適正に運用されていると認められた。

##### (2) 基金の運用状況

基金の決算年度末現在高は100,379千円で、前年度より1,569千円増加している。これは、電力売払収入の一部と基金の運用から生じた収益を積み立てたものである。

なお、出納整理期間中に定期預金19,500千円を追加で基金に積み立てたため、実質的な決算年度末現在高は119,879千円となっている。

また、当年度の基金の運用益金は368千円で、(款)財産収入(項)財産運用収入(目)利子及び配当金に収入されている。

<基金の運用状況（令和5年3月31日現在）>

(単位：千円)

区 分	前年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高	備 考
一般廃棄物 処理施設基金	98,810	1,569	100,379	現金、債券
合 計	98,810	1,569	100,379	

※ 基金については、定期預金及び普通預金並びに債券で運用している。

## 6 審査の所見

事務処理等に係る要望事項等については、次のとおりである。

### 〔要望事項〕

#### (1) 一般廃棄物処理施設基金について

基金については、将来の施設取壊しへの財源の一部として、クリーンパーク北但において発電する再生可能エネルギー電気の売電収入の概ね1割を積み立てることとしている。

取壊しのための財源手立てが限られている中で、有効な手段の一つであり、関係市町の健全な財政運営に資するため、計画的な基金の積立てを継続されたい。

#### (2) 自主財源確保のための取組について

主な自主財源である資源化物売払収入及び再生可能エネルギー電気の売電収入は、売払単価が上昇したことからいずれも前年度に比べて増収となっているが、売払単価は市場相場の影響を受けるため、今後の状況によって減収となることも想定される。

関係市町の負担軽減に資するために、今後も歳入確保の取組を着実に推進し、収入事務を適正に執行するとともに、より一層の自主財源確保について研究されたい。

#### (3) 関係市町負担金について

事業の運営に必要な経費を積算し、処理（運営）負担金は、均等割及びごみ量割で決定され、関係市町負担金は適宜精算措置が行われている。

今後の事業運営において、引き続きコスト縮減の努力を行うとともに「最少の経費で最大の効果を」という地方自治の原則を十分認識し、限られた資金を有効に活用するよう一層留意されたい。広域ごみ・汚泥処理の質の高いサービスを継続して実現されることを期待している。

#### (4) 北但地域の循環型社会形成に向けて

ごみ処理は住民の生活を守る不可欠で大切な仕事であり、今後とも「ほくたんハイトラスト株式会社」との連携・協力のもと、北但地域の循環型社会形成に向けて安全・安心な施設運営に取り組まされたい。

施設管理のリスクを把握するため、監督・モニタリングを継続して実施し、経費節減の可能性の協議も続けていただきたい。

当該施設が環境学習や地域交流の拠点施設として地域に貢献され、さらに成長するよう望むものである。

#### (5) 斜面对策について

南側斜面の孕み対策として、法面保護工事を実施しているが、本年8月に発生した台風7号の影響により、進入路の斜面で土砂崩れが発生している。

今後、台風や豪雨等により、敷地内で新たな災害が発生することも考えられるため、状況を注視し、必要に応じて安全対策を検討されたい。

[参考資料]

歳入歳出決算前年度比較表

歳 入

(単位:千円、%)

	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	比 較 増 減	令和4年度		
				不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	371,286	319,145	52,141	0	0	100.0
負 担 金	371,286	319,145	52,141	0	0	100.0
使用料及び手数料	156,434	149,022	7,412	0	0	106.4
使 用 料	107	103	4	0	0	184.5
手 数 料	156,327	148,919	7,408	0	0	106.3
財産収入	285,177	254,118	31,059	0	0	103.4
財産運用収入	368	1	367	0	0	100.0
財産売却収入	284,809	254,117	30,692	0	0	103.4
繰 越 金	28,483	16,180	12,303	0	0	100.0
繰 越 金	28,483	16,180	12,303	0	0	100.0
諸 収 入	9,453	2,876	6,577	0	0	349.7
組合預金利子	5	4	1	0	0	500.0
雑 入	9,448	2,872	6,576	0	0	349.7
合 計	850,833	741,341	109,492	0	0	103.1

※ 収入率は、予算額に対するもの

歳 出

(単位:千円、%)

	令和4年度 決算額	令和3年度 決算額	比 較 増 減	令和4年度		
				支出率	翌年度 繰越額	不用額
議 会 費	858	866	△ 8	85.4	0	147
議 会 費	858	866	△ 8	85.4	0	147
総 務 費	51,344	52,433	△ 1,089	98.6	0	728
総務管理費	51,344	52,433	△ 1,089	98.6	0	728
衛 生 費	750,407	659,560	90,847	97.3	0	20,914
清 掃 費	750,407	659,560	90,847	97.3	0	20,914
予 備 費	0	0	0	0.0	0	1,000
予 備 費	0	0	0	0.0	0	1,000
合 計	802,609	712,859	89,750	97.2	0	22,789